

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について①（区南部）

品川区・大田区

1 選定病院

公益財団法人 東京都保健医療公社 荏原病院（大田区）

2 事業計画と選定委員会での総合評価

小項目		事業計画
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・センター中心でなく、地域の協力施設などを含めた地域リハ関係者が行う症例発表会・勉強会などを強力に支援する。 ・症例発表会、講演会（1回/年） (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・同上
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・センター中心でなく、地域の協力施設などを含めた地域リハ関係者と介護支援専門員が交流できる活動を強力に支援する。 ・リハ施設従事者とケアマネジャーとの交流会（2回/年） (2) ケアマネジャーへの研修 ・上記の交流会時に研修会も開催（2回/年） (3) ケアプラン相談支援 ・月～金曜日 9時～17時
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会（連絡会） ・地域協議会（1回/年）
	若手理学療法士及び作業療法士の実務研修受入	(1) 受入予定人数 ・2人/年 (2) 研修内容（予定） ・急性期リハビリテーションの理解、リスク管理など
選択する役割	(1) 脳卒中医療連携推進事業への支援 ・区南部圏域脳卒中医療連携推進幹事会にセンター担当医師が参加 (2) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・大田区高次脳機能障害者連絡会や目黒区高次脳機能障害者支援連絡会にセンター担当医師が参加 (3) 介護予防における地域リハビリテーション促進事業への支援 ・これまで行われている介護予防事業の内容やセンターへの支援要望を把握	
【総合評価】 ・実績、計画等向上している点が評価できる。 ・地域からの声を聞く体制ができています。さらに実績を重ねてほしい。 ・品川区、大田区の広域の連携ができています。 ・生活期のリハビリテーションを見据えると、作業療法士及び理学療法士の関与が不十分と思われる。		

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 1か所	無 1か所	有 5か所	無 1か所
現在の連携状況	【連携内容】 ○品川区 ・地域リハビリテーション支援センターが主催する研修等について、区を経由して区内事業所に周知している。		【連携内容】 ○品川区医師会 区南部地域リハビリテーション支援センター地域協議会委員等 ○荏原医師会 年数回行われている地域協議会の参加 ○大森医師会 地域リハビリ病院と連携、地区リハビリ担当者と連携等 ○田園調布医師会 ・リハビリテーション施設、自治体、関係団体の現状の課題等について意見交換と情報共有を行っている。 ○蒲田医師会 ・年1回、地域協議会を開催し、医師会代表1名が参加している。	
指定に対する意見	○大田区 ・二次保健医療圏ごとのリハビリ医療の中核として、今後もその機能を発揮していただきたい。		○大森医師会 ・現状で良いと思われる。 ○田園調布医師会 ・特に問題なし ○蒲田医師会 ・大田区、品川区において、役割を果たせる医療機関が他に見当たらないため妥当と考える。	
事業計画に対する意見	○品川区 ・引き続き、地域におけるリハビリテーション支援について、研修会等を通じて支援強化をお願いしたい。 ・また、在宅療養支援をより充実させるために、福祉部門で活動しているPT、OT等へのリハビリテーションの最新知識・技術等の普及できるような事業を希望		○大森医師会 現状で良いと思われる。（研修、在宅リハ支援等） ○田園調布医師会 ・今後継続を希望 ○蒲田医師会 ・残念ながら23区内において地域リハビリが盛んに行われているとは言いがたい。 ・リハビリ病院としての規模で見ると現在の指定はやむを得ない。 ・今後は、何をやっているのか、どれだけアウトカムを向上させているのかの機能を評価するシステムを取り入れてほしい。	